

# 2015年3月期 第2四半期 決算説明会

2014年11月28日

株式会社日本ケアサプライ

## I 2015年3月期 上期決算概況

## II 2015年3月期 通期業績見通し

## I 2015年3月期 上期決算概況

## II 2015年3月期 通期業績見通し

- 福祉用具サプライ事業の拡大により、売上高は前年同期比増収。
- 利益面では、レンタル資産の増加により減価償却費は増加するが、増収に加え経費節減により、全ての利益項目が前年同期比増益。
- 期初業績予想<sup>(注)</sup>に対しても、売上高および全ての利益項目で上回った。

(注) 期初業績予想につきましては、2014年9月24日付で上期業績予想を修正しております。

# 2015年3月期 上期業績ハイライト(前年同期比)



	2014/3期 上期 実績	2015/3期 上期 実績	前年同期比	
	金額(百万円)	金額(百万円)	増減(百万円)	増減率(%)
売上高	5,265	5,905	640	12.2%
営業利益	504	516	12	2.5%
経常利益	515	526	11	2.2%
純利益	277	295	17	6.3%
EBITDA	1,712	2,008	296	17.3%

# 2015年3月期 上期業績ハイライト(期初予想比)



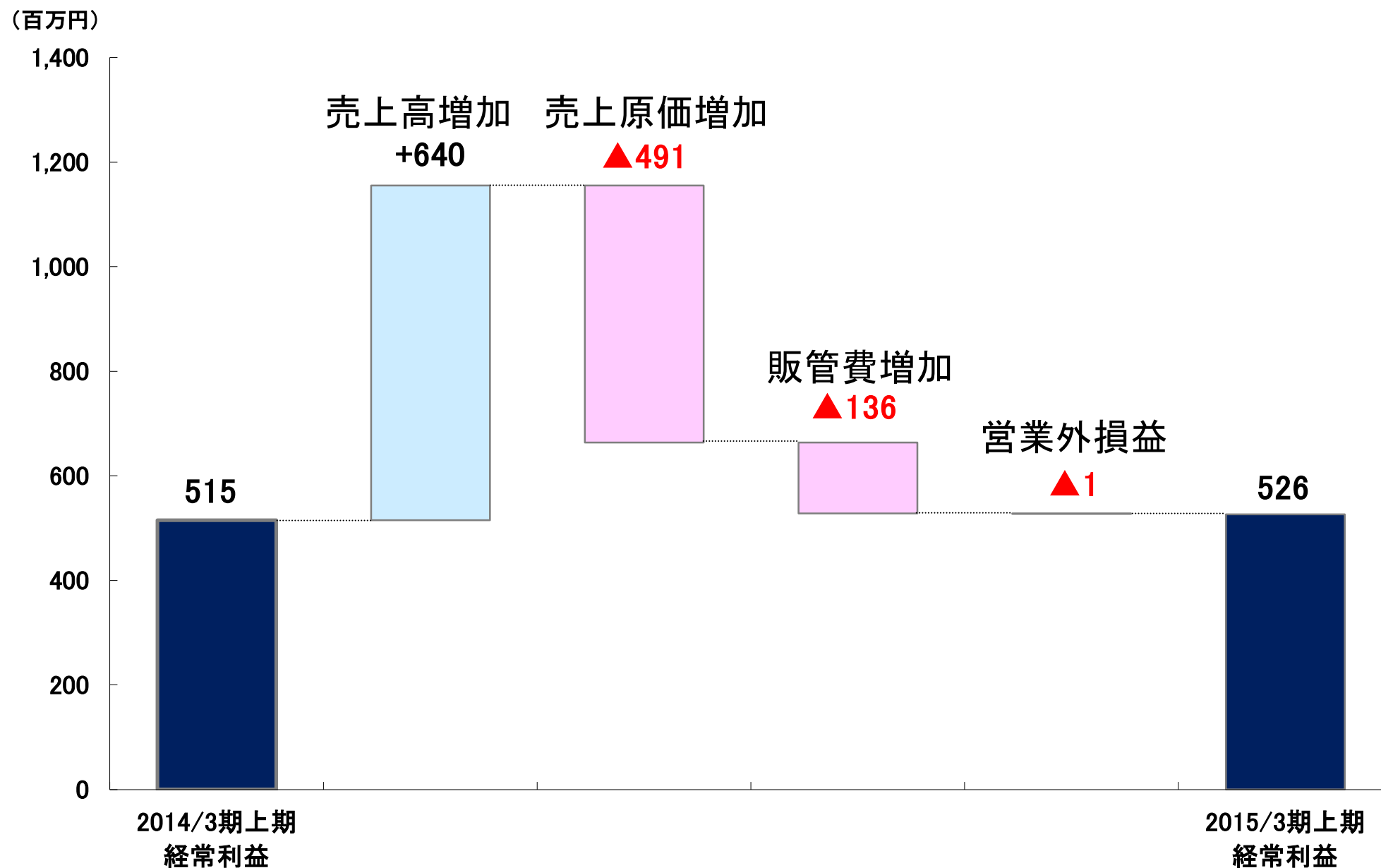
	2014/3期 上期 期初予想(5/7)	2015/3期 上期 実績	期初予想比	
	金額(百万円)	金額(百万円)	差異(百万円)	達成率(%)
売上高	5,900	5,905	5	0.1%
営業利益	390	516	126	32.6%
経常利益	390	526	136	34.9%
純利益	200	295	95	47.7%
1株当たり純利益(円)	12.87	19.01	6.14	—

# 2015年3月期 上期業績ハイライト(修正予想比)



	2014/3期 上期 修正予想(9/24)	2015/3期 上期 実績	修正予想比	
	金額(百万円)	金額(百万円)	差異(百万円)	達成率(%)
売上高	5,940	5,905	▲ 34	▲0.6%
営業利益	520	516	▲ 3	▲0.6%
経常利益	530	526	▲ 3	▲0.7%
純利益	290	295	5	1.9%
1株当たり純利益(円)	18.66	19.01	0.35	—

# 經常利益 増減要因(前年同期比)





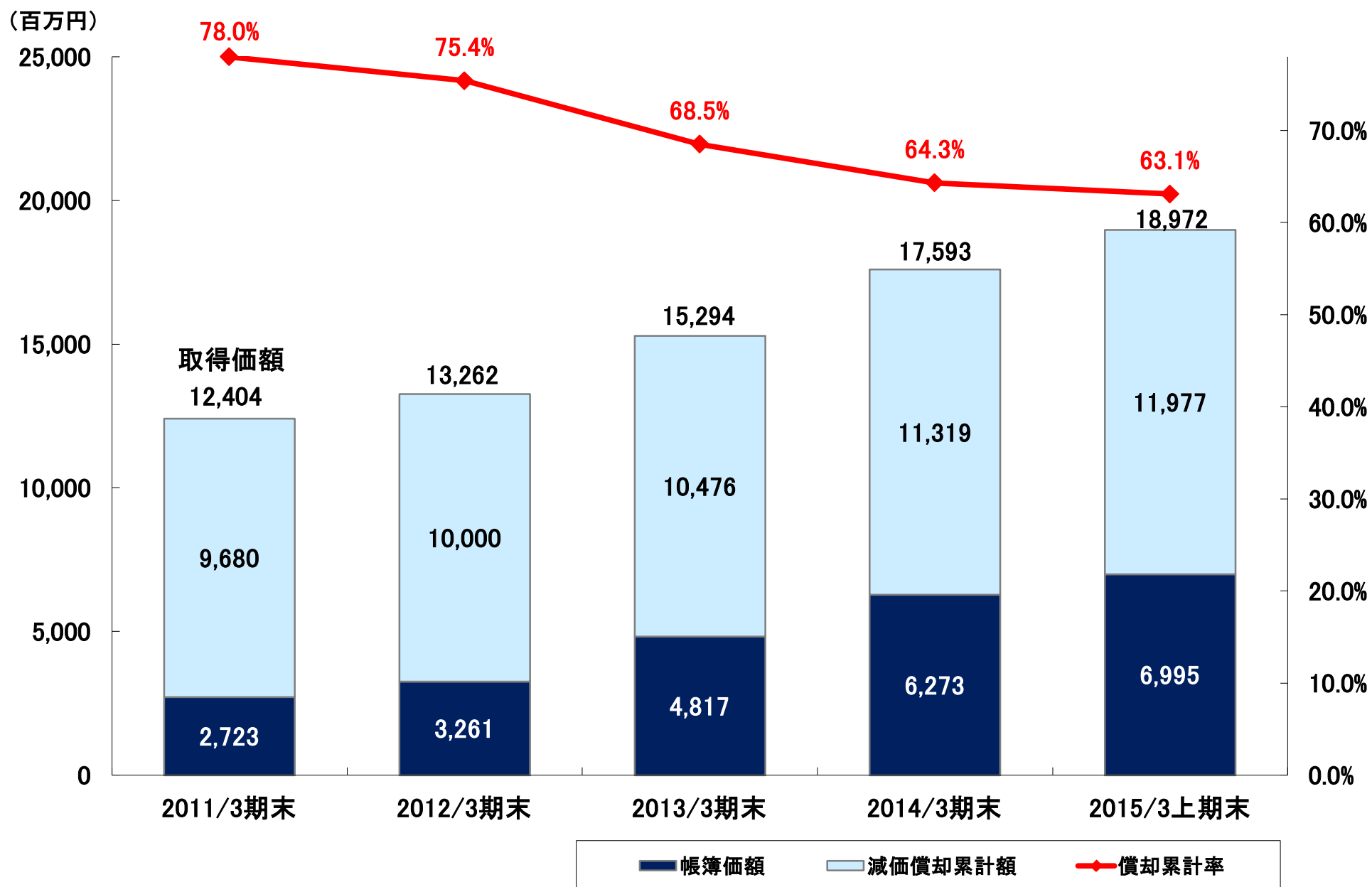
# 連結貸借対照表



	2014/3期実績		2015/3期実績	前期末比
	上期末(百万円)	3月末(百万円)	上期末(百万円)	増減(百万円)
流動資産	4,987	5,011	4,364	▲ 646
固定資産	7,123	7,602	8,358	755
(レンタル資産)	5,767	6,273	6,995	722
資産合計	12,111	12,613	12,722	108
負債合計	2,659	2,771	2,941	170
純資産合計	9,451	9,842	9,781	▲ 61
負債純資産合計	12,111	12,613	12,722	108

	2014/3期 上期	2015/3期 上期	前年同期比
	実績	実績	
	金額(百万円)	金額(百万円)	増減(百万円)
現金及び現金同等物の期首残高	3,316	2,674	▲ 642
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1,301	▲ 281	1,020
(うちレンタル資産の取得による支出)	▲ 2,413	▲ 1,987	426
投資活動によるキャッシュ・フロー	592	179	▲ 413
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 341	▲ 341	▲ 0
現金及び現金同等物の期末残高	2,266	2,230	▲ 35

# レンタル資産の保有状況の推移



## I 2015年3月期 上期決算概況

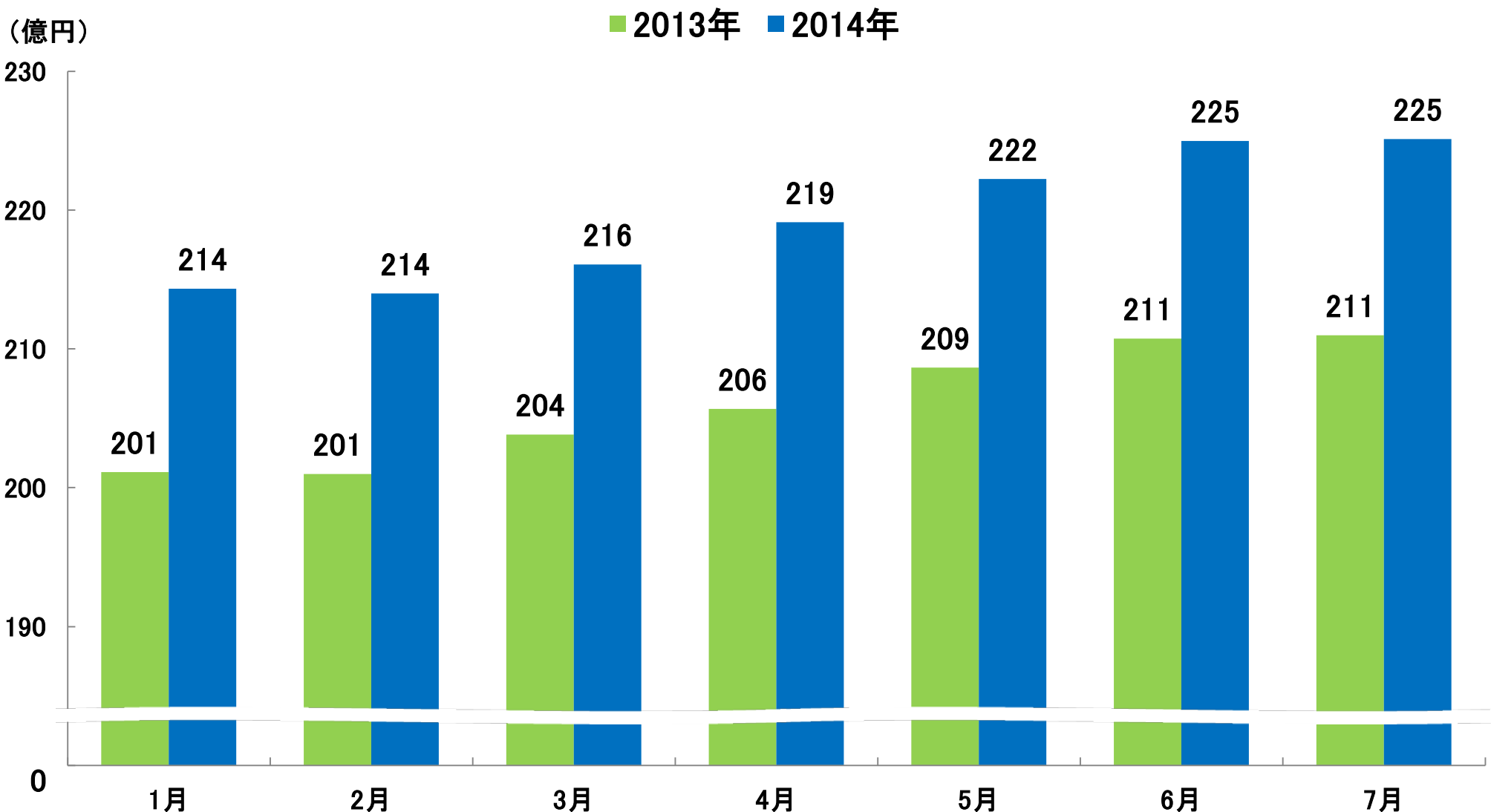
## II 2015年3月期 通期業績見通し

- 福祉用具サプライ事業の更なる拡大
- 通所介護事業者向け後方支援事業の推進



- ▶ 積極的な資産購入による減価償却費の増加
- ▶ 長期的成長を見据えた営業基盤強化に伴う販管費の増加(対前年比 増収減益)

## ■ 福祉用具貸与費の月次推移

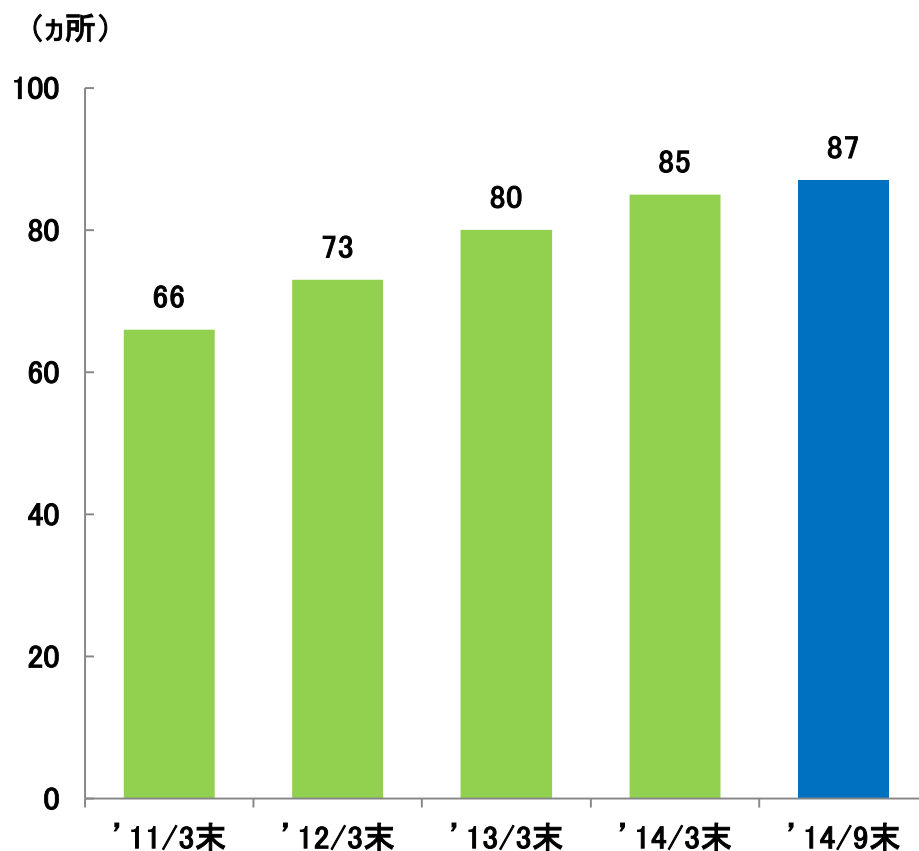


出所: 国民健康保険中央会資料より当社作成

## ■ 営業拠点の増設による販売ネットワークの強化

- 2015年3月期 上期実績: **2**拠点開設

### ■ 営業拠点数の推移



### ■ 2015年3月期 営業拠点開設の状況

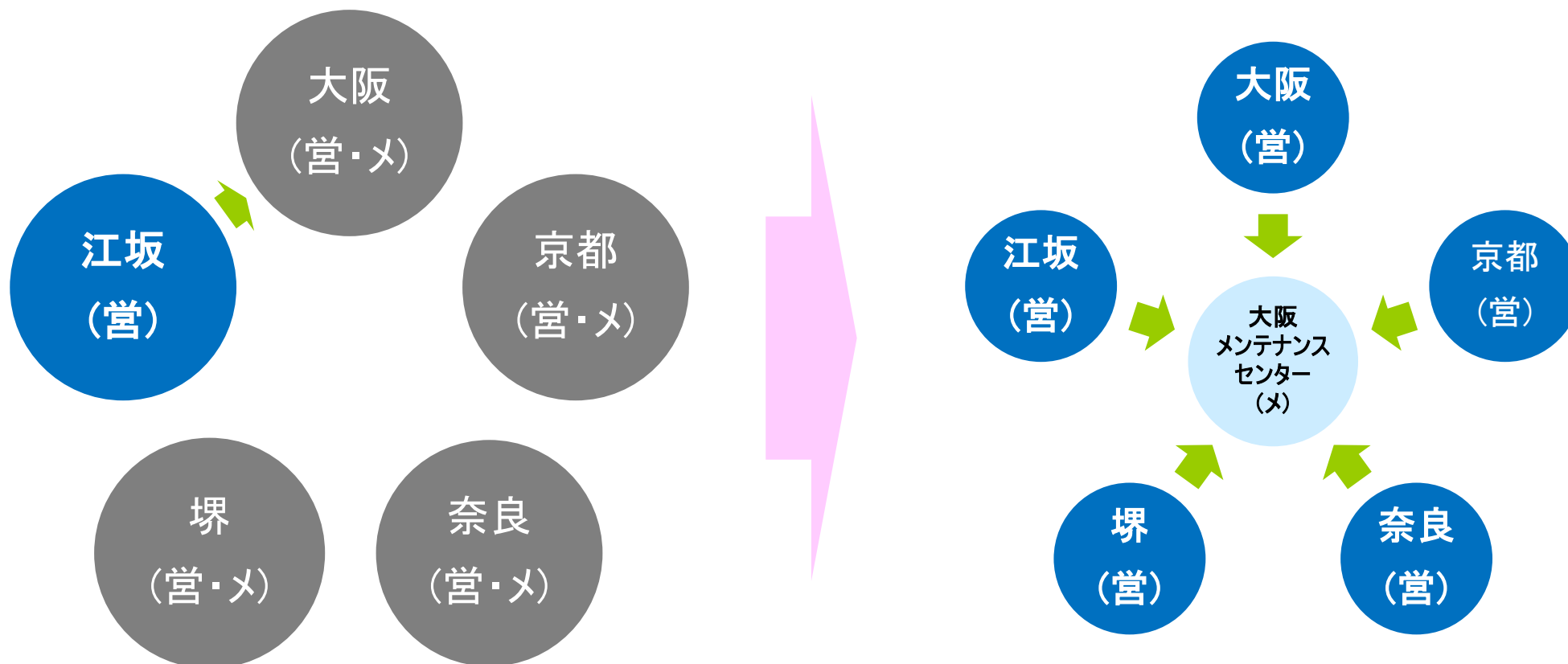
開設日	名称
7/7	宮崎ステーション (宮崎県宮崎市)
8/1	津山ステーション (岡山県津山市)
(10/14)	練馬ステーション (東京都練馬区)
(10/20)	呉ステーション (広島県呉市)

## ■ 営業拠点の洗浄・消毒機能集約による生産性の向上

- 大阪メンテナンスセンターの開設(2014年12月予定)

■ 営業拠点:5カ所

■ 営業拠点:5カ所+メンテナンスセンター:1カ所



※「(営)」は営業機能、「(メ)」は洗浄・消毒・メンテナンス機能を省略して表記しております。



## ■ 取引顧客支援のITツールを強化・拡充

- 関係強化に向けた「作成くん※」普及の推進

## ■ 「グリーンケアオンラインショップ」の利便性の向上

- 配送体制の効率化の推進

### ■ 作成くん※

福祉用具サービス計画書 (基本情報)

福祉用具サービス計画書 (利用情報1)

### ■ グリーンケアオンラインショップ

株式会社日本ケアサプライ

商品を検索

カートの中を見る

テストさん ようこそ! いらっしゃいませ。

商品カテゴリ

最新情報

人気商品BEST5

※(株)ケアビジネスサポートシステム製の福祉用具サービス計画作成システム

## ■ レンタル商品のラインナップ拡充

- 高齢社会が抱える課題解決に向けた商品の採用

腰痛予防/中重度者増加	2014年 4月	マイティライトⅢ (移動用リフト)
認知症増加	2014年 4月	家族コール(認知症老人徘徊感知機器)
老々介護世帯増加	2014年11月	アシストホイールライト スリム(車いす)

### ■ 介助用電動アシスト車いす アシストホイールライト スリム



### ■ マイティライトⅢ



### ■ 家族コール



## ■ デイサービス向けソリューション機能の強化

### ■ 7,000超の事業所登録

- ✓ 2015年度4月介護保険制度改正を前に、ニュース関連記事の充実
- ✓ 教育・研修機能の強化  
（「スキルアップNAVI」実装）
- ✓ 介護事業者参加イベントの実施  
（利用者作品コンテスト）

### ■ 介護保険ニュース開設



介護保険NEWS  
最新情報はこちら

介護保険ニュース解説

#### プロセス重視の「リハビリマネジメント」を強化 小規模デイは減収必至、お泊りデイに厳しい逆風（最新介護経営 介護ビジョン）

厚生労働省は11月13日、第114回社会保障審議会介護給付費分科会を開催し、通所介護、通所リハビリおよび訪問リハビリに関する報酬・基準等について検討を行いました。  
【資料ページへのリンク】  
<http://www.mhin.go.jp/shf/shng/2/0000065262.html>

通所介護については、認知症高齢者や重度の要介護者を積極的に受け入れる事業所に対して加算で評価する方針が厚労省より提案されました。具体的には、以下1）、2）のいずれかの要件を満たし、介護職員または看護職員を指定基準より加算する場合が対象です。

1. 認知症高齢者の日常生活自立度算以上を一定割合以上受け入れ、かつ、認知症介護指導研修、認知症介護実践リーダー研修または認知症介護実践者研修を修了した者を算定で1以上配置。
2. 要介護度3以上の利用者を一一定割合以上受け入れ、かつ、看護職員を算定で1以上配置。

また、通所介護の個別機能別加算については、算定要件に「療育を併用したうえで計画を作成すること」を追加し、在宅での生活状況や家族の状況を把握したうえで、心身機能訓練から生活行為方向訓練まで総合的に行う機能強化を図る方針です。

一方、基本報酬では小規模型通所介護の報酬単価引き下げが濃厚です。また、小規模型通所介護を中心に導入が進んでいる宿泊サービスには、宿泊室の提供状況や人員配置状況、消防設備の設置状況などの届け出を義務付けるほか、「7時間以上9時間未満」のサービス提供後の延長加算を算定不可とする方針を明示しました。

さらに厚労省は、送迎を行っていない場合には利用者に対する報酬から減算するほか、送迎に行った自宅内介助等を通所介護の所要時間に見合える見直しを求めました。所要時間に定めるのは30分以内の送迎が有効（電気の誘引・転倒・着替え、ベッドへの移動、窓の他脱等）で、ケアプランと通所介護計画に位置付けること、一定の職員係数が行われることが求められる見直し。

人員配置基準については、①生活相談員の専任要件を緩和する、②看護職員について病院、診療所、訪問看護ステーションとの連携により健康状態の確認を行った場合、人員配置基準を満たしたものとみなす、の2点を想定しました。①については通所介護が施設連携の拠点として展開できるよう、生活相談員が事業所内での相談業務だけでなく、地域ケア会議への出席、社会資源の活用・活用などに携わることが可能、②については、地域で不足している看護職員を効果的に活用することが狙いですが、中重度の利用者に対する看護職員の役割は大変重要として、慎重な取り組みが求められています。

通所リハビリ・訪問リハビリでは、リハビリテーションマネジメント加算を大幅に見直し、報酬を引き上げる方針。通所リハビリにおいては、従来の算定要件に「利用者主体の日常生活に着目した目標設定」「多職種連携を実現するための具体的な仕組みの導入」「プロセスマネジメントの導入」「訪問指導加算を包括化」の追加・見直しが行われます。訪問リハビリにおいては、基本報酬に包括されているリハビリテーションマネジメント加算として評価する方針です。

さらに、短期集中リハビリテーション実施加算と個別リハビリテーション実施加算を統合、認知症短期集中リハビリテーションの見直し、「生活行為向上リハビリテーション」の新設——が大きな変更点となります。

# 2015年3月期 通期業績予想



	2014/3期 実績	2015/3期 期初予想(5/7)	前期比	
	金額(百万円)	金額(百万円)	増減(百万円)	増減率(%)
売上高	10,883	12,000	1,116	10.3%
営業利益	1,232	960	▲ 272	▲ 22.1%
経常利益	1,247	960	▲ 287	▲ 23.1%
純利益	676	510	▲ 166	▲ 24.6%
1株当たり純利益(円)	43.55	32.82	▲ 10.73	—

# 高齢社会への貢献

— 安心できる商品の供給と真心のこもったサービスの提供 —

## 本資料に関する注意事項

本資料に記載されている計画、予測等は、現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は、記載されている見通し・計画とは異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。